



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラク：予算案、一般恩赦法案及び地方議会法案の国民議会採択

(2月13日付イラキーヤTV他)

2月13日、現地イラキーヤTVは、国民議会のマシュハダーニ議長、アティーヤ第一副議長及びタイフル第二副議長が、記者会見において、予算案、一般恩赦法及び地方を形成しない県に関する法案(地方自治法案)の国民議会での採択を発表する模様を報じている。マシュハダーニ議長ら国民議会首脳の発言は以下のとおり。

1. 2008年度予算案、一般恩赦法案及び地方自治法案が国民議会において採択された。
2. 総額約60兆イラク・ディナール近い予算(約480億ドル)のうち、約44兆イラク・ディナール(約360億ドル)が経常収支に、また約16兆イラク・ディナール(130億ドル)が資本支出に割り当てられる。また今年度から、新しい支出項目として、緊急事態対応と地方開発の項目を設けた(注:1ドル=1211.8イラク・ディナール)。
3. 予算案の焦点となっていたクルド地域への配分率は17%で妥結したが、2009年度予算については、年度末までに行われる国勢調査の結果による人口比に従って見直されることを条件とする。
4. 予算案及び重要法案が成立したので、国民議会は18日まで休会とする。

#### <参考>

2月14日付ワシントン・ポスト紙、ニューヨーク・タイムズ紙は、イラク国民議会における法案採択を一斉に報じ、各紙ともおおむね良好な反応をみせている。ニューヨーク・タイムズ紙は、「イラクにおける良い知らせは、稀なことであるが、イラク議会は予算案、一般恩赦法案及び地方議会法案を採択した。既に、旧バース党員の公職復帰に関する法律も承認された。これら全ては、国民和解に向けて不可欠なものである」という社説を掲載している。これらの法案は、大統領委員会によって承認される必要があるが、ここでも採択される可能性が高い。